

信州健康ゼロエネ住宅の建築手法等  
技術講習会

# 現場 施工

株式会社 リボーン  
一級建築士 塩原 真貴

 Reborn



## ■自己紹介 塩原 真貴 (しおはら まさき)

松本市出身、長野市在住

1973年 (昭和48年) 生まれ (現在48歳)

1973 オイルショック

- ・松本深志高校卒業
- ・千葉工業大学 工業デザイン学科卒業

1995 阪神・淡路大震災

1997年 長野市内の設計兼工務店に入社

1998 長野冬季五輪

2004 新潟県中越地震

2008 リーマンショック

2011 東日本大震災

2011年 独立開業(個人事業主)

2014年 株式会社 R e b o r n 設立

◇設計事務所

◇工務店 (建設業)

◇インスペクション事業

◇不動産事業

住宅を中心に、300棟程の現場管理・  
設計 などに関わってきました



2001年 新住協に加盟 (新木造住宅技術研究協議会)

2002年 佐久市で兄の家を高断熱高気密で新築

2004年 松本市で実家を耐震断熱改修

2007年長野市で自宅を新築Q1.0住宅(G2レベル)

2015年 信州の快適な住まいを考える会 (SAH会) 加盟



- ・どうせもう先(寿命)がないから、灯油でもなんでもガンガン燃して暮らすしかない…
- ・結露とカビで、冬はひたすら耐えるしかない。どの家もみんなそうなんじゃないの？
- ・隙間風がどこからともなく…これって欠陥住宅なの？
- ・ヒートショックが原因で、家族が寝たきりになり、施設にも入れない。ずっと介護している。自分の時間がまったくくない…
- ・こんなはずじゃなかった。新築だったらどんな家もあたたかいって聞いてたのに…
- ・あら？大工さん断熱材バッチリ入れといたって言ってたけど…



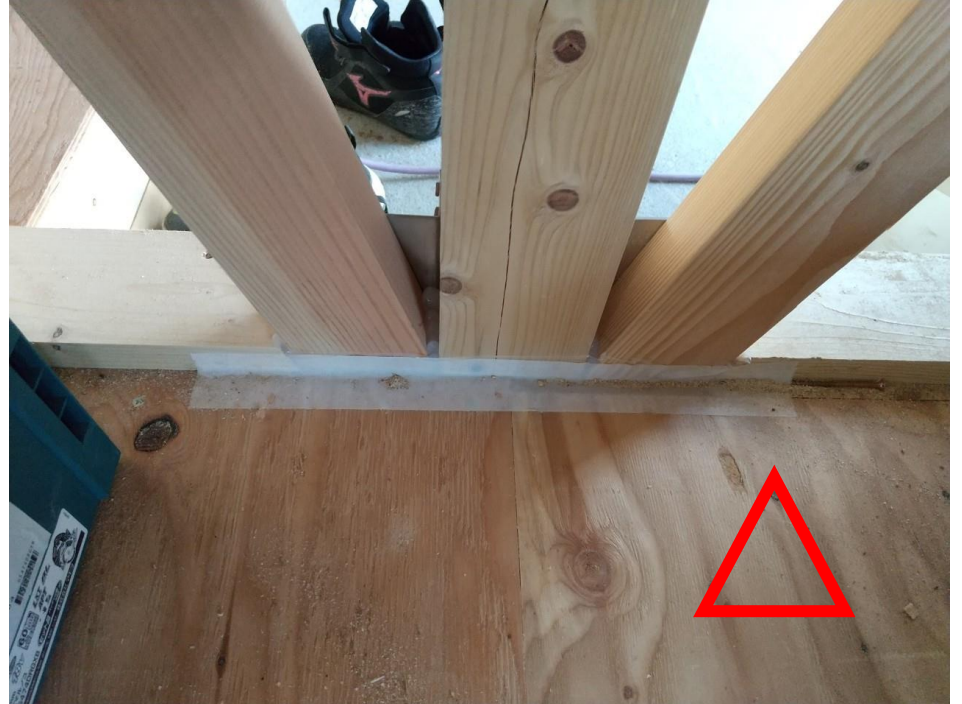
- ・断熱材がこんなに効果があるなんて知らなかった。こりゃ魔法ね
- ・家に帰ると心底ホっとするね。気づいたら外出もめっきり減ったよ
- ・隙間風がないだけでこんなに違うとは。比較して暮らしてみないとわからなかったよ
- ・高気密の家は窒息するからやめたほうがいい、って違う会社の営業の人が言ってたけど、あれってウソなのね
- ・朝、起きるときがほんとうに楽だわ。それによく眠れるしね
- ・真夜中の授乳がおっくうにならなくなった。母乳の出がよくなりました
- ・こんなに変わるなんて…。もっと早く建てればよかった
- ・みなさんどの業者も「うちがつくる家はあったかい」って言うけれど、ほんとにそうなの？

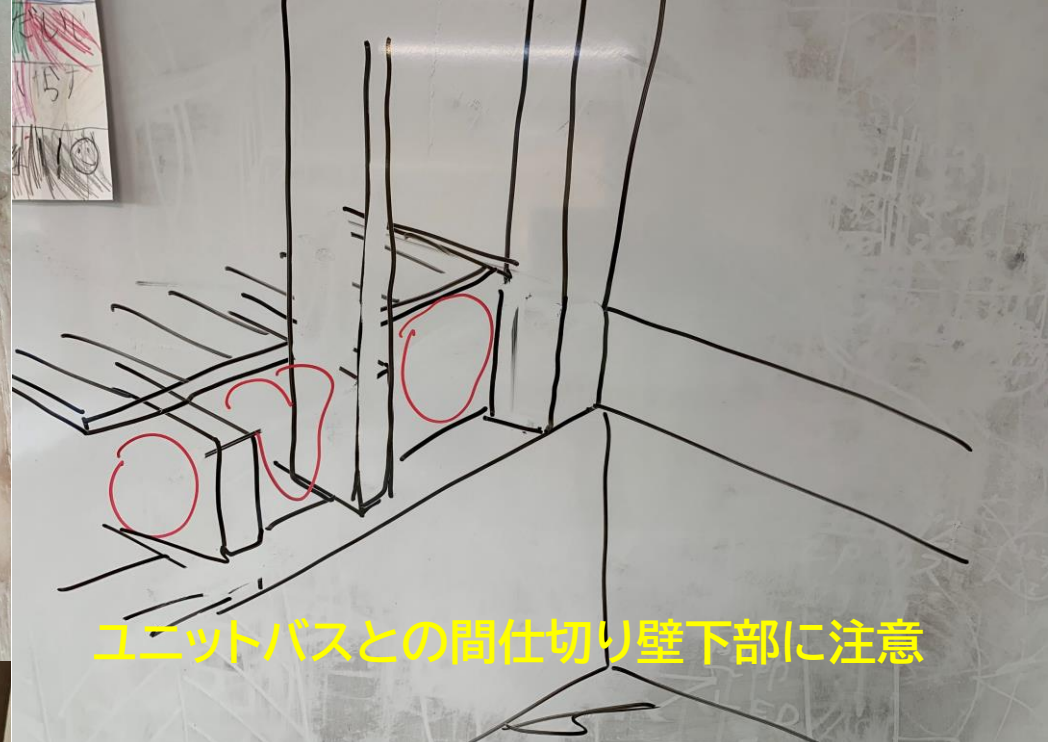


断熱・気密・防湿

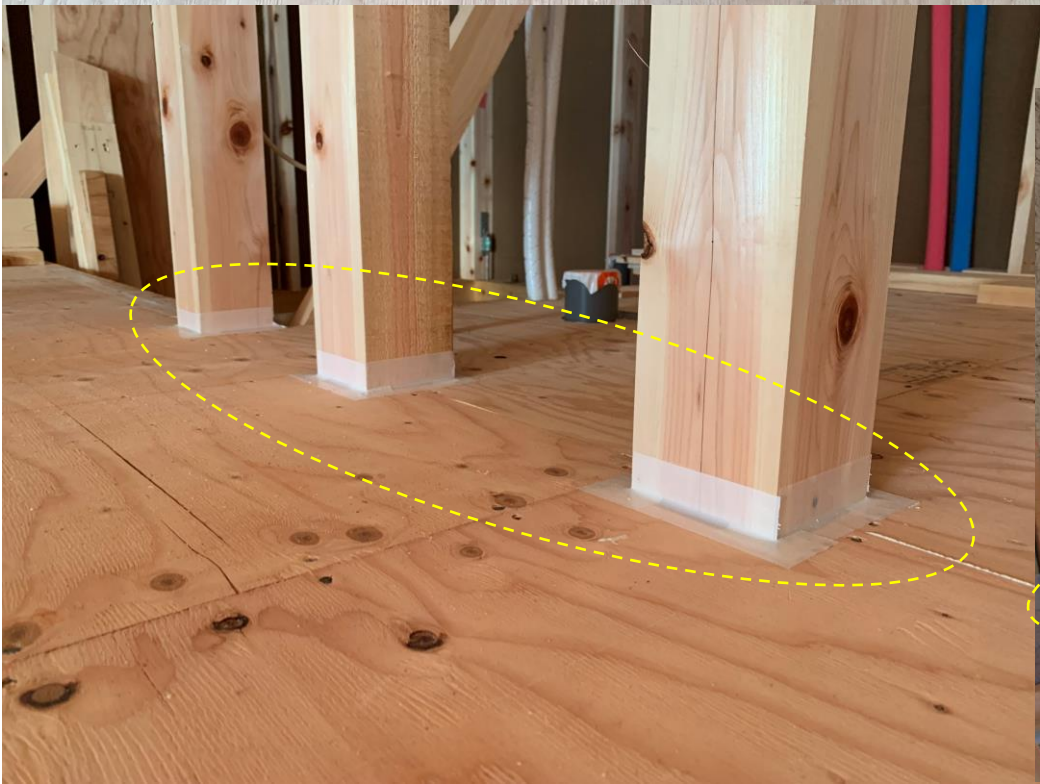
は

ワンセットでやってしまう  
ことが可能です。





ユニットバスとの間仕切り壁下部に注意





胴差上端まで張り上げる



袋の耳は重ねるように。  
間柱がみえなくなるように。









階間部分(1階の天井裏)



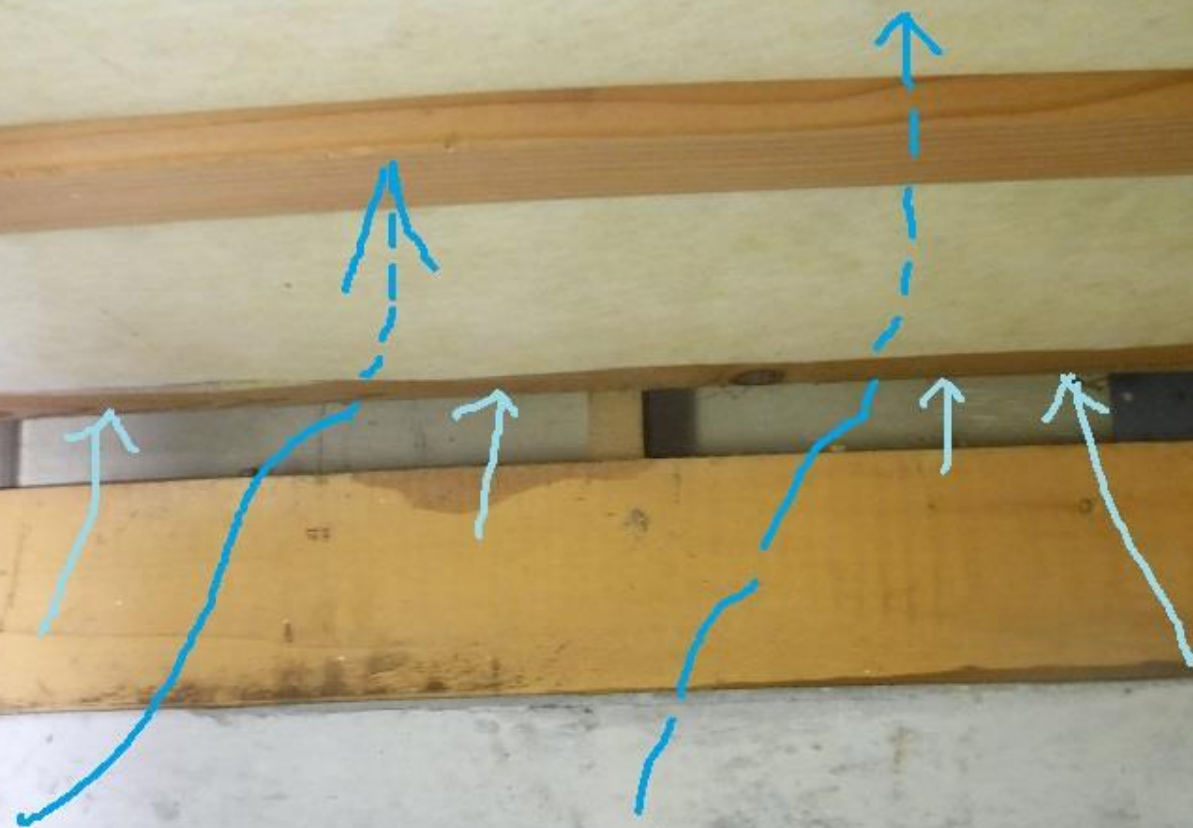
床下冷気が壁の中を通ってゆく  
(気流止めがない)

床下で結露している

向こう側には巾木がある

床断熱材

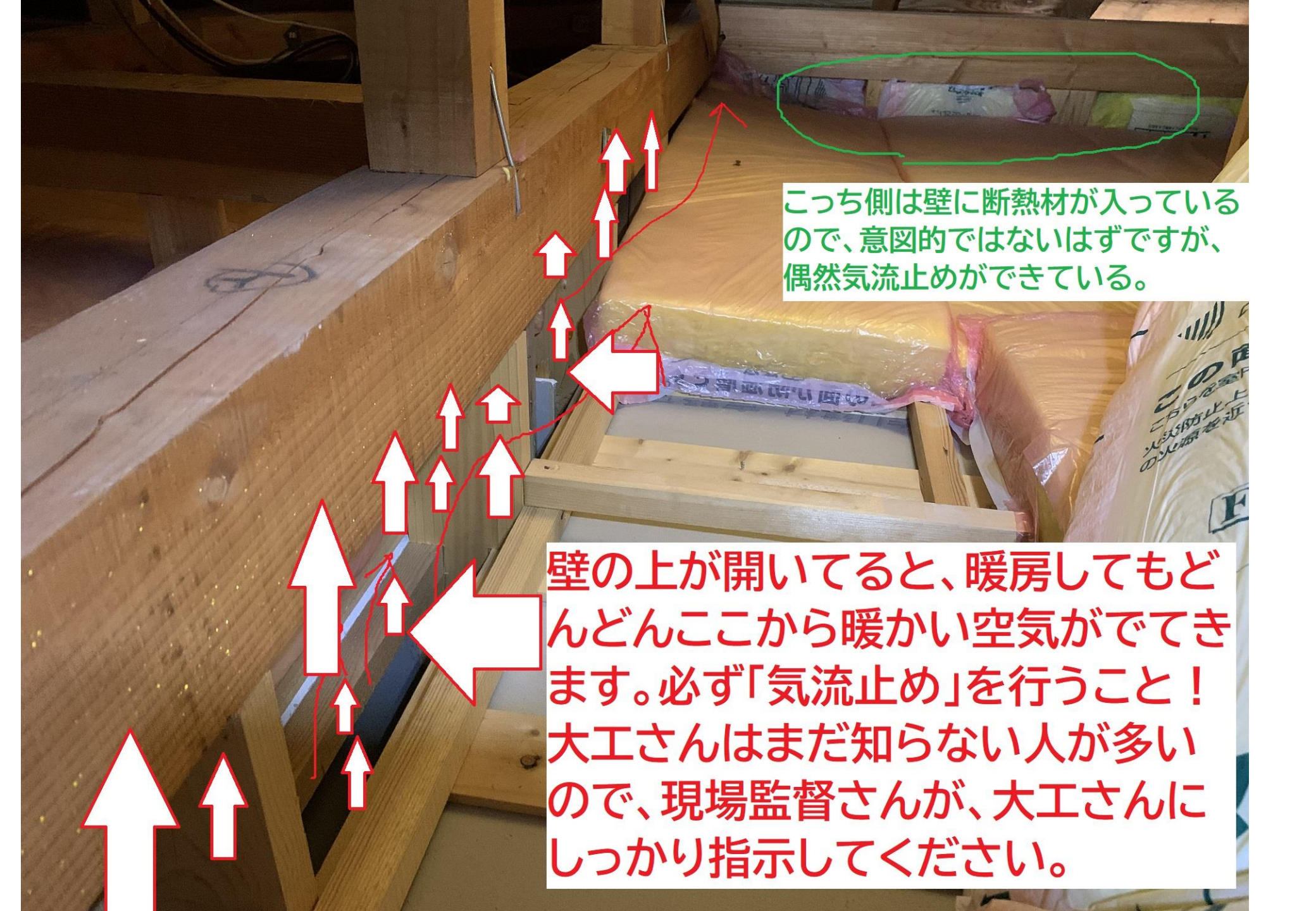




真冬、床下の空気は最低5℃くらいになる

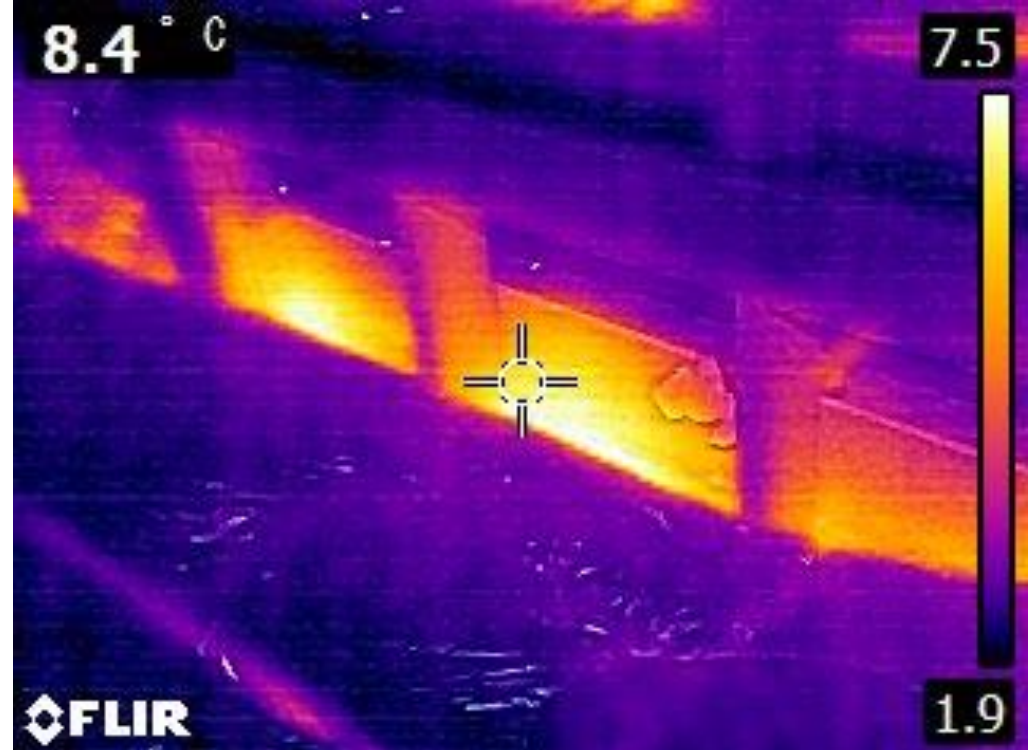
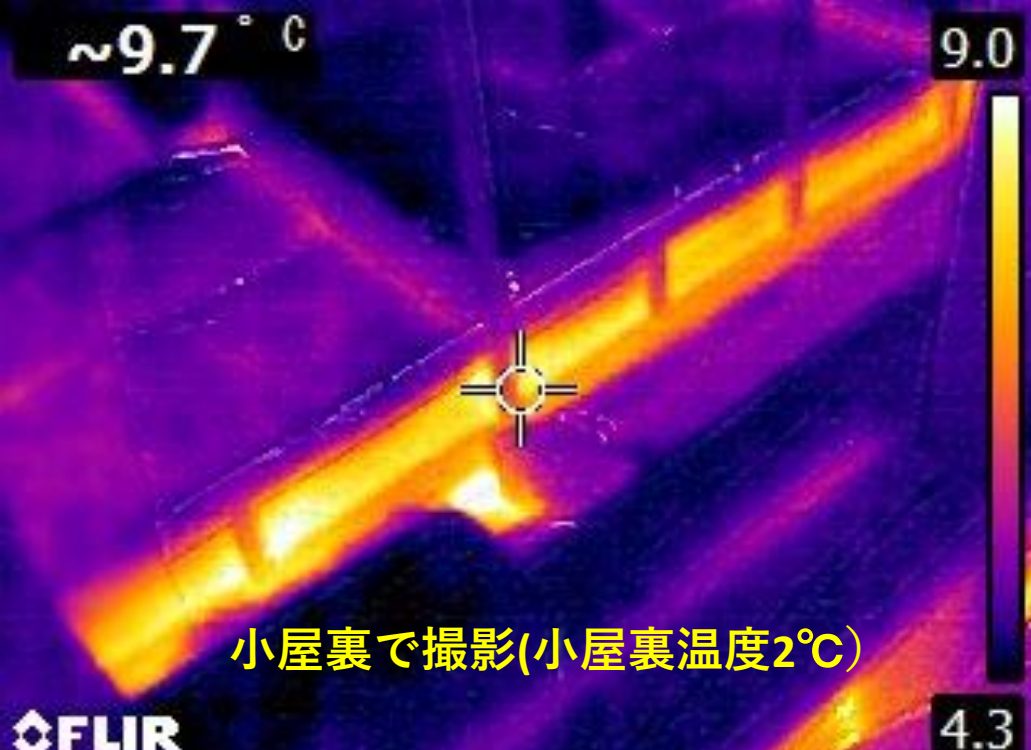
各工務店の現場監督さんへ！

「床下の空気が壁の中に入らないようにする」  
ということを徹底してください。



こっち側は壁に断熱材が入っている  
ので、意図的ではないはずですが、  
偶然気流止めができています。

壁の上が開いてると、暖房してもど  
んどんここから暖かい空気がでてき  
ます。必ず「気流止め」を行うこと！  
大工さんはまだ知らない人が多い  
ので、現場監督さんが、大工さんに  
しっかり指示してください。

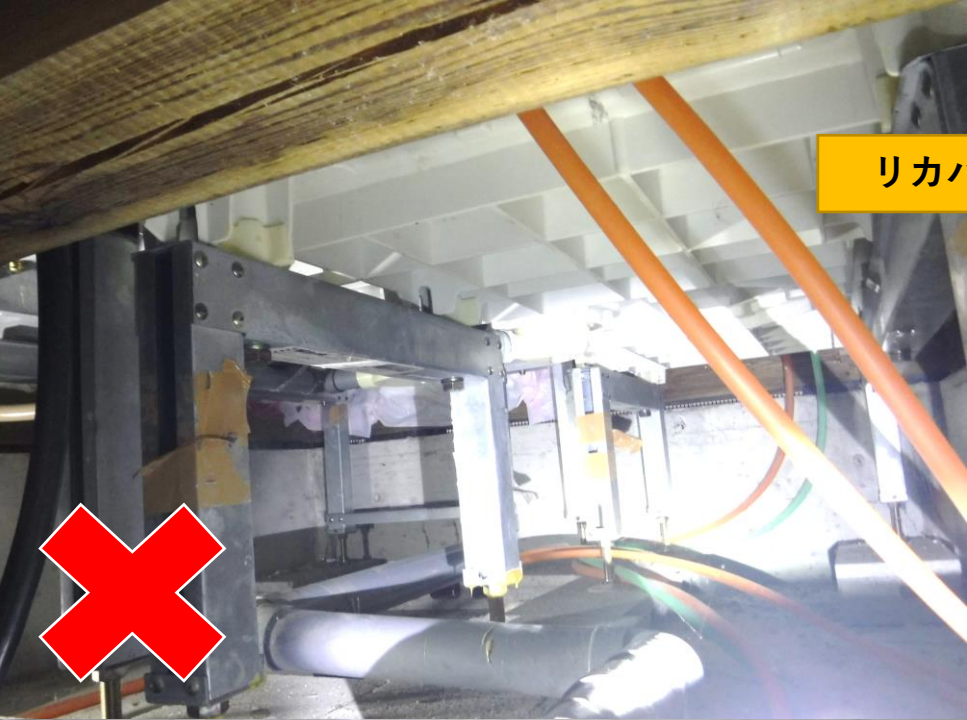


押入の床・壁が濡れている原因は気流止め不足の場合がほとんど







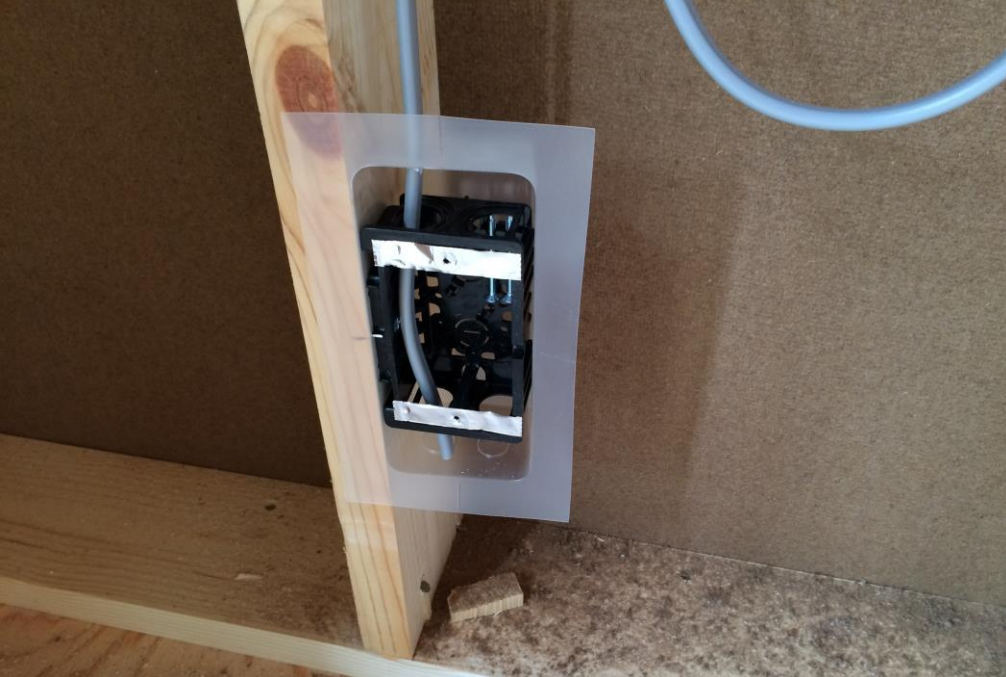


リカバー大変！



床下からの冷気で、ユニットバスの壁や天井の内側にひどい結露





コンセントやスイッチ周辺は専用の気密カバーで気密・防湿処理を

洗濯機の排水箇所は要注意





- ・ 断熱・気密は決して特別な技術ではありません。

断熱材の特性を理解したうえで、施工マニュアル通りに正しい施工を行えば、必ずその効果があらわれます。

- ・ 気密は高ければ高いほどよいが、完璧を求めると果てしない作業量が必要となります。誰が作業しても間違えない施工手順や材料を用いるように設計段階で使用する材料や手順まではっきりさせるべき。仕様書に商品名まで記載しましょう。気密ラインと防湿ラインを設計図で色分けし、はっきりさせましょう。

- ・ 外に向かって湿気を通しやすい素材を用いるべきで、室内側を防湿シートを途切れずに覆いましょう。防湿層と気密層を兼ねるのが最も簡便です。

- ・ 床下か、天井裏か、どちらか一方、絶対に気流止めを行いましょう。

地球温暖化対策、SDGs、空き家問題など、社会的課題を解決できるポジションに私たち工務店はいます。



省エネで快適な暮らしを提供できるかどうかは、結局我々、つくり手次第なのです。



「**おかしい地球をどうにかしたい**」という世界の願いは、いま私たちが、目の前にある仕事にまじめに取り組むのか、という行動によってのみしか叶える術がありません。